

# ABOUT 学童保育

学童保育は、放課後児童健全育成事業として、保護者が就労等により家庭に不在の小学生の児童を対象に、安心・安全な居場所づくりと、家庭に代わる生活の場を提供し、主に遊びを通して児童の健全な育成を図ることを目的としています。

もともと、学童保育は第2次世界大戦以前より、自主的な保育活動として始まったとされ、高度経済成長期には「カギっ子」が増加したことから需要が高まり、児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業として法制化されました。



現在では、共働き家庭やひとり親家庭が増加している中で、子どもたちが放課後や学校休業日に安全に安心して過ごせる場を求める声はさらに高まっており、学童保育の量的な拡大と質的な拡充が図られることが求められています。

## ■全国の学童保育数と入所児童数の推移

年	学童保育数 (支援の単位 数)	登録児童数	備考
1998年	9,627	333,100人	児童福祉法施行
2008年	17,495	786,883人	10年で7,800か所増 入所児童数は45万人増
2020年	34,577	1,311,008人	2020年7月1日時点